

課題一の①【十回音読】

年 月 日

これは、私が 小さいときに、村の 茂平という
おじいさんから きいた お話です。

むかしは、私たちの 村の 近くの、中山という
ところに 小さな お城が あって、中山さまとい

う おとのさまが、おられたそうです。

その 中山から、少し はなれた 山の 中に、

「ア ごんぎつね」という キツネが いました。ごん

は、ひとりぼっちの 小ギツネで、シダの いっぱ

い しげった 森の 中に 穴を ほって 住んで

いました。そして、夜でも 昼でも、あたりの 村

へ 出てきて、 イ いたずらばかり しました。はた

けへ入って いもを ほりちらしたり、なたねがら

の ほしてあるのへ 火を つけたり、百姓家の

裏手につるしてある トウガラシを むしりとって

いったり、いろんな ことを しました。

読んだ回数まで
色をぬりましょう

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭
- ⑮
- ⑯
- ⑰
- ⑱
- ⑳

課題一の②【音読書写】

年 月 日

一、8ページの文章を、声を出して読みながら、ノートなどに、正しく書き写しましょう。

正しく写せたら
色をぬりましょう



課題一の③【問題演習】

年 月 日

一、8ページ7行目のぼう線ア「ごんぎつね」とありますが、「ごんぎつね」は、どこに住んでいましたか。

二、8ページ11行目のぼう線イ「いたずら」とありますが、ごんはどんないたずらをしましたか。三つこたえましょう。

①

②

③